



夢に向かってGO!!

鎌田地区の小中学生二人にインタビューをしました。一人はプロ棋士を目指し、もう一人は県内に「魚の博物館」を作りたいと話します。夢に向かって歩み始めた二人を応援したいですね。



かなた
岡村奏汰くん
小6(12歳・征矢野町会)

将来は棋士になりたい

7月に長野市で行われた「第78回全日本アマチュア将棋名人戦県大会」で、優勝した岡村くん。小学生の大会かと思いきや準優勝者が48歳で、小学生の優勝は初めてだそうです。将棋の天才ではないかと思ってしまいがちですが、その後の小学生の大会では2連勝後1敗したそうで、プロ棋士になるという夢の実現は遠く険しい道であることを覚悟しているようです。好きな棋士は菅井竜也八段。まずは奨励会に入って6級からスタートすることを目指しています。

9月に東京で行われる全国大会は「すごい人が集まるので、まず一勝をめざしたい」とのことでした。これから大海に船出していく少年の夢の実現に向けた歩みを、心から応援したいと思います。



鎌田地区
令和6年9月1日現在
総人口 20,019人
(前年比 -32人)
世帯数 9,678戸
発行者 鎌田地区公民館
公民館報編集委員会

将来の夢は、長野県に 魚の博物館をつくることです

4月に新潟の海で深海魚のサケガシラを捕まえた宮下くん、7~8月にアカデミア館で開かれた「魚魚展」で深海魚に関する研究を発表しました。修復作業を手伝ったジンベイザメの剥製は、7月12日から9月23日まで大阪市で行われた「ギョギョッとサカナ★スター展~お魚たちが教えてくれる海のこと~」で展示されました。海のこと、自然のことを伝えていく拠点となる「魚の博物館」をつくるという夢の実現に向け、好きな魚のことはもちろん学校の勉強も頑張って、水産高校・大学に行きたいそうです。長野県内に海水の水族館を作りたいという大きな夢も持っています。



こうが
宮下孔伽くん
中1(12歳・笹部町会)

8月5日に、鎌田地区公民館で「こども陶芸体験教室」を実施しました。陶芸サークルの皆さんの指導の下、20人の子どもたちが、マグカップや好きな作品をつくる陶芸体験をしました。ちょうど、社会教育実習のため大学で生涯学習を専攻しているコウキさんも子どもと一緒に陶芸体験をしました。コウキさんに感想を聞くと「地域の大人の方が前に立つて教え、子ども



「わからない所を学習ボランティアの人間に聞けるのでいい」(小5)、「静かで涼しく、家よりも勉強に集中できる」(中3)と好評で、お家の人には、安心できる子どもの居場所にもなっています。



勉強、はかどるよ

夏休み中の小中高生に、涼しい場所で学習してもらおうと、鎌田地区公民館が学習室を開設しました。午前中はわからないところが相談できる学習ボランティアが在室しております。今年は13日間で、延べ203人が利用しました。



こどもの発想ってすごいなー

鎌田地区で育つ子どもと大学生が交流できた陶芸体験教室になりました。

もが楽しそうに様々な工夫を施して陶器を作っていく、そして片付けなんかも率先して引き受けている子どもがいる。そんな姿を見て、大学で学んだ「公民館は市民が主役」ということを肌で感じました」とのことでした。



日頃からの対策を見なおさなきや

注意深く!! 安全に!!

楽しい交通安全教室

8月26日、鎌田地区福祉ひろばで「楽しい交通安全教室」が開催されました。

長野県自動車販売店協会による特殊詐欺の話、高齢者の交通事故についての話を聞き、学びました。

その後は、松本警察署交通第二課の青木係長の話を聞いて、みんなで交通安全や詐欺対策への意識を高めました。

最後に、反射神経などを測定するゲームや、歩行者シミュレーターを体験しました。気をつけているつもりでも周りが見えていないことがあるので、日常生活でも注意したいと感じました。



あわてないで、落ちついで



カワイイのできたらよ

7月30日、「鎌田地区防災講座」が開催されました。松本市社会福祉協議会地域福祉課の西澤久典さんを講師に迎え、まず、講義を聞きました。能登半島地震の災害ボランティアに参加していた西澤さんは、現地の様子や、地震が起きた時何に困るのか、日頃どういう対策をしたらいいのか等について話してくださいました。停電の時は、自己発電できるものがあると助かるという話の中で、参加者からは「捨てようと思っていた手動式のラジオは、防災用に取つておこうと思った。参考になった」という声がありました。

講義の後は、鎌田地区食生活改善推進協議会の方を講師に、パッククッキングの体験会が

あります。パッククッキングとは、耐熱性のポリ袋に入れた材料を入ったまま鍋で湯煎調理するもので、今回は、凍り豆腐の煮物と春雨サラダを作りました。「簡単で美味しかった」という感想がありました。知識を身に付け、いつどこで起ころかわからない災害に備えましょう。

8月27日に鎌田地区公民館にて「多肉植物ミニ植え講座」を開催しました。グリーンアドバイザーの竹下光重さんを講師に多肉植物を植えました。

まず、ネルソルという特殊な土を団子状に丸め、①多肉植物を植える場所に棒をさします。②お団子に毛糸を巻き付けてます。巻き終えたら棒を抜き、穴を開いたところへ植物をさし込み完成です。③「毛糸を巻く作業が難しかったが、かわいく作れた」と好評な講座でした。

8月8日に発生した日向灘を震源とする地震に伴って、初めて「巨大地震注意」の南海トラフ臨時情報が発表された。1週間後に解除されたものの、今後も「いつ地震が来ても慌てないように備えをきちんとして通常の生活を送りましょう」ということらしい。▼南海トラフで巨大地震が発生した場合、松本では2011年6月の松本地震と同程度の震度5強の横揺れが見込まれている。糸魚川—静岡構造線断層によるM7~8規模の地震予測が出されて久しい。今年4月の市の広報では、今年後30年間の発生確率を14%としている。発生時の鎌田地区一帯の想定最大震度は7。元日に発生した能登半島地震と同じである。避難所開設後の運営主体は市や学校ではなく、地域住民であるという。2万5千余の住民を抱える当地区には、4つの指定避難所があるが、どれくらいの数の避難者が想定されているのだろうか。個人的な備えの意識とともに、命共同体ともなり得る地域としての備えの意識も高めて考慮していくかなくてはならない。(小山淳二)



へえ~、これで作るの

日頃から備えよう!

鎌田児童センター 遊戯室にエアコン

今年も暑い夏でした。登録児童が200人を超える鎌田児童センターの内部は熱気ムンムン、とんでもない暑さです。その中でも、一番広い遊戯室は太陽をいっぱい浴びて温室状態となり、子どもたちが生活できる環境ではありませんでした。

しかし、この夏、長年の念願が叶い、ついにエアコンが設置され、7月20日から稼働しました。今年の夏休みは、昨年まで暑くて入れなかつた遊戯室に、長机を並べて学習する子どもたちの姿が見られました。

子どもたちに話を聞くと「一番暑かった遊戯室が涼しくなつてうれしい」「今遊ぶのは、毎回遊戯室だよ」と笑顔で答えてくれました。



雰囲感

8月8日に発生した

日向灘を震源とする地震に伴つて、初めて「巨大地震注意」の南海トラフ臨時情報が発表された。1週間後に解除されたものの、今後も「いつ地震が来ても慌てないように備えをきちんとして通常の生活を送りましょう」ということらしい。▼南海トラフで巨大地震が発生した場合、松本では2011年6月の松本地震と同程度の震度5強の横揺れが見込まれている。糸魚川—静岡構造線断層によるM7~8規模の地震予測が出されて久しい。今年4月の市の広報では、今年後30年間の発生確率を14%としている。発生時の鎌田地区一帯の想定最大震度は7。元日に発生した能登半島地震と同じである。避難所開設後の運営主体は市や学校ではなく、地域住民であるという。2万5千余の住民を抱える当地区には、4つの指定避難所があるが、どれくらいの数の避難者が想定されているのだろうか。個人的な備えの意識とともに、命共同体ともなり得る地域としての備えの意識も高めて考慮していくかなくてはならない。(小山淳二)